



帝京大学リカレントカレッジ  
2023年10月

後援  
千代田区



国際教養セミナー

# ロシア・ウクライナ戦争の行方と 国際秩序

日時 2023年10月26日(木) 14:30～17:30 (14:00開場)  
会場 帝京大学霞ヶ関キャンパス(平河町森タワー9階)  
定員 50名(申込順)  
※ 申込数が定員を超えた場合、千代田区民の方は追加受付致します。

● お問い合わせ先 ●

帝京大学リカレントカレッジ事務局(冲永総合研究所内)

Tel: 03-5213-4505

E-Mail: recurrent@med.teikyo-u.ac.jp



# ロシア・ウクライナ戦争の行方と国際秩序

コーディネーター： 帝京大学冲永総合研究所 客員教授 **黒崎 誠**



「プーチンの戦争」は世界の安全保障体制を揺るがすものとなりました。

時代の転換点を迎えた国際社会において、自由で開かれた国際秩序を維持していくのか、または新しい国際秩序が生まれるのでしょうか。その中で日本の外交戦略や安全保障体制は、どのように変わっていくのでしょうか。

国際報道の現場と国際政治学の世界においてそれぞれ長年活躍してきた専門家を招き、議論を深めていきます。

## 講演①

### 冷戦後秩序を変えたプーチンの戦争

時事通信社 国際担当取締役 **岸田 芳樹**

14:30

15:20

プーチン大統領が2022年に始めたウクライナ戦争は、冷戦後秩序を転換するものです。「プーチンの戦争」は、米国主導の国際秩序への挑戦であり、民主主義と権威主義との戦いの様相を呈しています。講演では日ロ関係、安保リスクなど「プーチンの戦争」の影響を多角的に分析します。

#### 【略歴】

1986年、時事通信社入社。90年代はモスクワ特派員としてソ連崩壊、新生ロシアの外交・内政、北方領土問題を含む日ロ交渉を取材。その後、ワシントン特派員、支局長として、北朝鮮核問題やイラク戦争、大統領選を取材。外信部長、ニューヨーク総局長、国際室長兼解説委員等を務め今年6月現職。



## 講演②

### 冷戦後の欧州安全保障体制からみたロシア・ウクライナ戦争

帝京大学法学部教授・東京外国語大学大学院名誉教授 **渡邊 啓貴**

15:20

16:10

ロシアのウクライナ侵攻をめぐる米欧の対応は必ずしも一枚岩ではありません。その国際秩序・欧州秩序感の違いがあるからです。わが国では米国的な国際秩序感が主流ですが、多極化する世界にあって冷静な日本外交を模索するためにも国際認識の多様性を正しく理解することは不可欠です。

#### 【略歴】

パリ第1大学大学院博士課程修了。東京外国語大学大学院教授、同大学国際研究所長、在仏日本国大使館公使、『外交』編集委員長、グローバル・ガバナンス学会会長等を歴任。国際歴史学委員会(CISH)理事。著書に『ミッテラン時代のフランス』、『ポスト帝国』、『米欧同盟の協調と対立』など多数。



## 対談

### ロシア・ウクライナ戦争の行方と国際秩序

**岸田 芳樹 / 渡邊 啓貴**

モデレーター： 帝京大学学術顧問・東京大学名誉教授 **廣田 功**

16:10

17:30

#### 【モデレーター略歴】

東京大学経済学部教授等を経て、2009年4月に帝京大学経済学部教授就任。2010～17年度に同学経済学部長、2018年度より同学学術顧問。専門分野は、フランス経済史、欧州統合史、食文化史。



#### ●会場 帝京大学霞ヶ関キャンパス

〒102-0093 千代田区平河町 2-16-1 平河町森タワー 9階

#### ●お申込み

① Peatix (申込みサイト Peatix) にてチケット (無料) を入手

※ Peatix 会員登録 (無料) が必要です

表面の QR コードから Peatix 申込み画面にアクセスできます

② お電話での受付 (03-5213-4505、平日 10:00～17:00)

